

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ねつとわーく

地域生活



社会福祉法人
北摂杉の子会

2025年 10月 発行 / 第103号

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



レジデンスなさはらもとまちのご利用者の豊かな暮らし

ひゅーまん HUMAN-RELAY リレー

北摂杉の子会とはるにれの里

社会福祉法人はるにれの里 顧問 きむら しょういち 木村 昭一さんより

この二つの法人はつながるべくしてつながったといえる。

まず第一に北摂杉の子会（以下杉の子会）とはるにれの里の共通点は重度知的障がい自閉症を抱えた子供の保護者らの運動で設立された法人であるということだ。そしてさらにはるにれの里が開設した厚田はまなす園、杉の子会が開設した萩の杜は共通して多くの行動面で課題を抱えた重度自閉症の方が多かった。そして杉の子会の設立には当時京北やまぐにの郷の施設長という大任を背負いながらも自らの公休日を返上して茨木、高槻市の親等とともに設立の運動に加わっていた松上理事長の功績は極めて大きく、当時の苦労話を聞かされた時にはるにれの里の設立と同じであることを痛感したことを今でも覚えている。しかしながら私ははるにれの里の設立には加わってなく、初代の厚田はまなす園柴田施設長（札幌市のぞみ学園主任）の苦労話をよく聞かされたものである。ただ私は松上理事長の家族に寄り添う姿勢には共感するところがたくさんあり、私もちょうどその時代に自らの公休日を返上して地域の重度知的障がい者の高等養護学校全入運動に参加していた。北海道では平成元年当時は中学を卒業しても高等養護学校入学を保障されていた障がい者は50%も満たなかった。そのため重度障がい児は中学を

卒業しても入所施設を選ばざるを得なくなり、とりわけ生活全般に渡って行動面での課題を抱えた自閉症の人たちは在宅で孤立するか、病院に入院するしかなかった時代である。私はこうした運動で重度自閉症児を抱えた親御さんたちの苦しみや思いに寄り添うことを深く学ばされたものだった。

二番目に両法人ともいかなる重度障がい者も「地域に生きる」という理念を大事にしていることだ。しかしながら厚田はまなす園は開設当初（1987年）はそうはいかず、親たちの思いは、入所施設厚田はまなす園こそ彼らにとっては人生の砦であり、将来においてさえも地域で暮らすことなどとんでもないという親御さんが多かった時代だった。しかし行動面で課題を抱える重度自閉症の方にとって、大食堂、大浴場、大きなデイルームなど、空間刺激、集団刺激が多い環境の中では、彼らの様々な行動課題を増やすことはあれ解消するにはならなかった。そして加えて職員による支援の未熟さも手伝い、日々困難な壁にぶつかっていた。一方はまなす園開設から10年後（1999年）に開設された萩の杜は、世界的に広まりつつあるノーマライゼーションの流れを先取りしてより個別対応が可能とし、自閉症者にとっても刺激がコントロールされたユニット環境の施設を整備し、さらに職住分離のプログラムなど導入するなど、「地域

に生きる」を具現化していった。私も当時見学させてもらい深く感銘した。一方スタートして10年ばかり混乱期を迎えていたはまなす園は、若い職員の懸命な自己研鑽の中で一つの支援プログラムにたどり着いた。それが今でいうところの自閉症という障がい特性に配慮された構造的な支援プログラムであった。そうしたプログラムの導入はまだまだ全国的には少なかったが、萩の杜もスタートからそのプログラムの実践が進められていた。はまなす園としても若い職員を横浜やまびこの里など先進的な施設に派遣して学ぶことにより、徐々にその成果が生まれ、利用者の生活は落ち着きを取り戻すこととなった。しかしながら前述したように集団生活を前提とした居住環境、職員の人手不足などからくる集団プログラムの環境の中では限界があり、はまなす園としては制度としてスタートしたばかりの地域のグループホームに行動面で課題を抱えていた人たちの生活の場を移すこととなった。はまなす園としては、利用者の地域生活移行として「地域で生きる」を具現化していった。一方その後、杉の子会も地域の行動面で課題のある人たちのグループホームを次から次へと開所していくこととなった。

三番目に利用者の人権擁護、虐待の防止の取り組みである。

障害者虐待防止法の成立が2012年であるがそれまでは事業所や職場、学校、病院などあらゆるところで障がい者への人権侵害である虐待が起き、表面化していた。その中で特に注目されたのは2003年に起きた重度自閉症の入所施設カリタスの家での虐待事件は私ども関係者に大きなショックを与えるものであった。このカリタスの家は、当時発達障がい者支援施設として県の委託を受けている福岡県内唯一の発達障がい者専門施設でもあり、全自者協（現在の全日本自閉症支援者協会）にも加盟していた仲間の施設でもあった。そこでの虐待事件の発覚は協会内部でも大きなインパクトをあたえることになったのである。その年の

全自者協の総会で、当時の執行部としては身内をかばうような発言に終始したことに対して杉の子会の松上施設長はそれに対して、厳しく批判する発言をされたことを今でも記憶に残るシーンであった。私も賛同してその後私と松上さんを近づけるきっかけとなった。

その後、2012年の障害者虐待防止法施行に向けて松上施設長を中心とした杉の子会の取り組みは目をみはるものがあり、はまなす園としてはただただ学ばされるものばかりであった。

四番目に人材育成についてである。

今日、全産業種で人材確保受難の時代である。そうした中で手厚い支援が必要とする生活全般に渡っての行動面での様々な課題を抱えている重度自閉症のサービスが大きな試練を迎えている。支援の困難さはまだ若い支援者のストレスを高め、結果として早期の離職者を生み出すこととなっている。そうした中で、杉の子会の松上施設長らが中心となり当法人も加わり、人材育成のための組織マネジメントが進められ、強度行動障がい支援者養成研修のプログラムの作成に着手して国研修として定着してくるとともに、さらにスーパーバイザー養成のための研究を進め、国レベルの中核的な人材育成プログラム作成にも両法人が協力することで、人材育成に貢献してきている。この両法人が実践的に進めてきた支援プログラムの原点は、平成21年に杉の子会が厚労省の受託研究として松上理事長を中心として進められた先進的な事例研究の調査を目的として、アメリカのノースカロライナのGHAの視察であった。視察団には現在の国立のぞみの園の田中理事長も加わり、目からうろこの先進的な実践例を学んできた。この視察研修により今日の標準的な支援プログラムにつながったものと私は確信している。今後の課題としては地域の支援力を高めるための広域的な人材育成のためのマネジメントと、その制度としての裏付けをどのように創っていくかが問われてくるものと思われる。

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



大阪府地域生活定着支援センター

相談員 ^{やま}山 ^{した}下 ^{こう}耕 ^{へい}平さんより

映画『千と千尋の神隠し』で、千尋は湯婆婆から「今からおまえの名前は千だ!」と言われ、その契約によって「油屋」で働くことになる。千尋に寄り添うハクさまは「湯婆婆は相手の名を奪って支配するんだ。いつもは千でいて、本当の名前はしっかり隠しておくんだよ。名を奪われると帰り道がわからなくなるんだ」と忠告する。

なぜ、いきなり『千と千尋』を引き合いに出したかということ、これは福祉の現場にもあてはまることだと思うからだ。福祉サービスを契約するには、障害名や障害区分が必要で、その契約によってサービスを利用することになる。しかし、その人は「障害」の面だけを生きているわけではない。そのことを忘れてしまうと、自分の名を奪われて帰り道がわからなくなり、サービスの枠組みに縛られて、生のありようを狭めてしまうこともあるように思う。

●なぜ「加害者」を支援するのか

さて、本稿のテーマは、地域生活定着支援センターの活動と、貴法人との連携についてだった。当センターは、罪を犯した人への支援をしている団体で、支援には大きく2本の柱がある。

①**出口支援**：矯正施設（刑務所、少年院）に入所している人で、高齢もしくは障害があり、身元引受人がいない場合、満期で出所しても、たちまち困って再犯してしまう懸念がある。そこで、刑務所と保護観察所が支援対象者を選定し、本人が望めば、当センターの支援を受けることができる。具体的には、当センターが刑務所や少年院に出向き、半年ほどのあいだに面談を重ね、アセスメントをし、住む場所の確保や福祉サービスの調整、生活保護の申請、医療調整など、さまざまなコーディネートをしている。

②**入口支援**：被疑者・被告人段階、つまり逮捕・起訴されているけれども、実刑にはならず釈放

されそうな見込みがある場合に、上記と同じように、釈放後の住居や福祉サービスの調整をしている。

いずれにしても、「犯罪者」であり、「高齢者」や「障害者」で、身寄りのない人を支援していると言える。ただ、一般的に疑問に思われるのは、被害者を支援するというならわかるが、なぜ加害者を支援するのか、ということだ。「犯罪者」というと、助ける必要のない「悪者」と観念されやすい。しかし「犯罪者」は、たしかに罪を犯して刑務所に入っているわけだが、「困った人」である前に、「困っている人」でもある。たとえば、入所受刑者全体に占める65歳以上の高齢者の割合は14.3%（犯罪白書2024）、新入受刑者のうち、知的障害の疑いのある者が20%、精神障害のある者が22%となっている（矯正統計年報2024）。高齢者の罪名で一番多いのは窃盗（60.5%）、窃盗事犯のうち万引きが85%、万引き事犯の窃盗物品の

金額は、3000円未満が73.3%となっている（犯罪白書2018）。

高齢にともない、安定した収入源、住まい、支えてくれる家族などを次第に失い、にもかかわらず生活保護や福祉サービスにもつながらず、それらが多元的に重なって、犯罪行為にいたっている。あるいは、生育歴において、貧困や虐待状況を生きてきた人も多く、障害があっても、適切な福祉サービスにつながらず苦勞してきた人も多い。いわば社会的排除が積み重なった結果として、犯罪行為にいたっている。にもかかわらず、いったん「犯罪者」とみなされると、特別視されて福祉関係者も手を引いてしまうことがある。社会的な制度のなかで、唯一、対象者の収容にあたって、受け入れを拒否できない機関として刑務所がある。しかし、ほとんどの受刑者は、出所して、また地域にもどっていく。そこで必要なのは、再犯せずに本人が社会生活を送ることができるよう、いまある社会資源を活かし、調整していくことだろう。それは、安心・安全な地域をつくっていくことにもつながりうる。当センターでは、地域の理解を深めるための研修活動（ネットワーク事業）や、地域からの相談を受ける相談支援事業も実施している。

● アクトおおさかとの連携

受刑者のなかには、発達障害を持つ人もおり、近年、課題としてクローズアップされてきている。私が担当しているケースでも、自閉症スペクトラムの傾向が顕著であるにもかかわらず、家族も周囲も理解せず、それゆえに苦勞を重ね、結果として重大な触法行為にいたってしまったケースがある。個人情報保護のため詳細は書けないが、もっと早くに周囲の理解があれば、ここまで追い詰められることはなかったと思えた。また、本人も自分を理

解したいという気持ちが強く、出所後、アクトおおさかに相談し、本人と面談を重ねていただいた。アクトおおさかには、支援者会議にも出席いただいている。

自閉症スペクトラムの場合、こだわりが強いことなどは知られているが、ややもすると支援者も、「発達さんだからね」みたいなことで理解をすませってしまうことも多いように思う。しかし、本人の側からすると、たとえば感覚過敏があったり、過去の記憶がいつまでも鮮明であったり、本人なりの背景や文脈があって、こだわっていたりする。たんに名前をつけてわかったように思うのではなく、本人の特性を理解して、周囲の状況を調整していくことが重要だろう。アクトおおさかには、そうした意味において、的確・適切な助言をいただいている。

● おわりに

「発達障害」と言っても、本人は発達障害の面だけを生きているわけではない。「犯罪者」の場合も、犯罪の面だけを生きているわけではない。ただ、私たちも、ふだん福祉サービスを調整するなかで、本人のニーズをちゃんと聴くのではなく、障害名をもとに、使える社会資源や制度に本人をあてはめて、説得してしまいかねないところがある。しかし、それでは、本人を刑務所とは別の「油屋」に閉じ込めてしまっているのかもしれない。もちろん限界はあるのだが、支援者は、その限界を自明視するのではなく、少しずつでも踏み出して、本人の側に立って考えることが必要ではないだろうか。千尋が油屋での経験を経て、それまでとはちがった関係を結び直していくことになったように、私たちの支援も、そういう一助となることができればと思う。

LaLa-chocolat TAKATSUKI 10周年を迎えて



LaLa-chocolat TAKATSUKI
副部長 やま 山 だ 田 ゆたか 優

1. はじめに

2015年10月21日にオープンしたLaLa-chocolat TAKATSUKIは、今年で10周年を迎えることとなりました。立ち上げからこれまでの期間、さまざまなご支援をくださった関係者の皆さま、そして、何よりも店舗に足を運んでくださったたくさんのお客様に、スタッフ一同、心より御礼申し上げます。この10周年の節目に、これまでの歩みと取り組みをご報告させていただきます。

2. 10年間の取り組みについて

LaLa-chocolat TAKATSUKIは、就労継続支援B型事業所として、「障がいのある方のデーセントワークの実現」と、「付加価値の高い商品の製造・販売による高工賃の実現」を目指し、チョコレートと焼き菓子の専門店を運営する形で設立されました。

設立当時は14名だったご利用者の人数も、現在では25名に増え、店舗での厨房作業だけでなく、さまざまな場所で活躍いただけるよう作業内容の充実を図り、それぞれのニーズや強みに合わせて働いていただいています。

■ 店舗での厨房業務

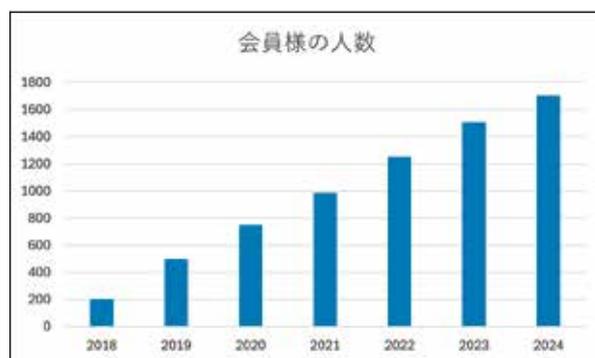
厨房では毎日5名のご利用者が菓子製造の業務を行っています。厨房作業に携わることから、少しずつ増え、現在では曜日ごとにローテーションしながら12名の方が作業に入られています。

担っていただいている業務は多岐にわたりますが、主なものをご紹介します。

- 材料の計量作業
- 生地 of 仕込み・伸ばし作業
- サブレの型抜き
- クッキー生地 of 成形
- トッピング用のナッツやドライフルーツのカット
- 商品の袋詰め・袋とじ
- ラベルシール貼り
- 調理器具の洗浄、厨房内の清掃など

作業工程を細分化することで、できる限り多くの工程にご利用者が携われるように工夫しています。一人ひとりの特性やペースに合わせてながら、スモールステップでチャレンジしていただき、できることを増やしていただいています。

商品開発・製造では、「付加価値の高い商品づくり」を目指すため、専門職のパティシエスタッフを配置し、「品質の高さ・丁寧さ」を大切にしたお菓子づくりをご利用者と一緒に進めてきました。丁寧なお菓子づくりを継続してきたことで、ララショコラのお菓子を知っていただく機会も増え、ありがたいことに来店者数も年を重ねる毎に少しずつ増え、会員登録して下さる方も増えてきました。



店舗は厨房と販売スペースがガラスで仕切られた造りで、お客様から厨房を見ていただけるようになっていますが、厨房で作業するご利用者からもお客様の様子を見ることができます。自分たちが作ったお菓子がお客様に購入される場面を見られることは、ご利用者の皆さんにとっての大きなモチベーションに繋がっています。



■ ご利用者の拠点となっている「ステップ」

LaLa-chocolatの出張所として、店舗で使用するシールの作成やリーフレット折り、箱折りなどの軽作業を中心に取り組む場所としてスタートした「ステップ」ですが、ご利用者の人数増加に伴い、外部の企業様からの受託作業などにも取り組むようになりました。現在では、店舗に関わる業務に加え、ポスティングや部品組み立て、箱折り、手袋検品など、さまざまな業務を請け負っています。



ステップは毎日10～15名ほどのご利用者が作業されており、実質的にはご利用者の拠点のような位置づけになっています。ステップをベースに、1週間の中で厨房作業や施設外作業のローテーションを組み形で、仕事のスケジュールを組み立てています。

■ 施設外作業による地域との連携

ご利用者が地域との繋がりを感じられる仕事を提供できるよう、施設外作業にも積極的に取り組んでいます。現在は3か所の企業等と業務委託契約を結んでいます。

①特別養護老人ホームの洗濯業務

入居者の方の衣類の洗濯・乾燥・仕分け・たたみ・居室への片づけをさせていただいています。今年度から片づけ作業もさせていただくことになり、初めて入居者の方と直接お会いすることができ、ご利用者にとってもよりよい作業環境になったと感じています。入居者の方から「ありがとう」とお声がけいただくこともあり、喜んでおられる場面も増えました。



②グループホームの清掃業務

廊下、トイレ、お風呂などの共用部分の清掃を担当しています。「きれいになると喜んでもらえるから」と、誰かの役に立てているという実感がモチベーションになっているようです。



③リサイクルセンターの機械解体・分別業務

市バスで通勤し、会社の方と同じ部屋で作業させていただいています。一緒に作業させていただく

ことで、適度な良い緊張感を持ちながら働くことができます。



施設外作業は、ご利用者にとって地域に出て仕事をする大切な機会であり、厨房やステップでの作業場面とは違った一面を見ることができます。希望を確認しながら、多くのご利用者に機会提供できるようローテーションを調整しています。

3. 10周年記念イベントのご紹介

店舗では、10年間の感謝を込めて、10月14日(火)～21日(火)の1週間で記念イベントを企画しています。

①10周年記念スペシャルケーキの製造・販売

フランスの伝統的なケーキ「サントノーレ」をララショコラのアレンジで仕上げました。30台限定の完全予約制で販売予定です。



②会員様限定のノベルティ配布:

ロゴ入りエコバッグを会員様限定で配布させていただきます。

③くじ引きでお菓子のプレゼント

ご来店されたお客様にくじ引きをさせていただき、お菓子をプレゼントさせていただきます。

10周年の感謝の気持ちをこれまで支えてくださったお客様にしっかりお伝えできるように、ご利用者・スタッフ全員で、お客様に楽しくご来店いただける一週間にしたいと思います。

4. 今後に向けて

私たちは「障がいのある方のディーセントワークの実現」を目指し、「地域に愛される店舗づくり」を進めてきました。この10年で少しずつそれが形となってきたように感じています。

5年後、10年後、より多くのお客様に足を運んでいただけるお店を目指し、これからもご利用者の皆さまと一緒に丁寧なお菓子づくりを継続していきたいです。また、ご利用者がよりやりがいやモチベーションを持って仕事に取り組めるよう、仕事内容や職場環境を整え、地域の中で活躍できる場所を増やしていければと思います。

「8法人ジョイントセミナー2025」 大阪・高槻で開催いたしました！



豊中市立児童発達支援センター通所部門 管理者

保育士・臨床発達心理士・公認心理師 ^{いわ} ^き ^{のぞみ}
岩 城 望

～ ジョイントセミナーとは ～

異なる地域、異なる設立経過、異なる事業の展開をしてきたそれぞれの法人には、共通点があります。それは、自閉症の人たちの理解の仕方であり、効果的だと確信がもてる支援の方法です。ジョイントセミナーは、8法人がジョイント(連携)することで互いの日々の実践を持ち寄り、互いに研鑽し刺激し合うと共に、その機会を公開しさらに多くの地域の方々と学びを共有することを目的として毎年開催しています。

第1回・第2回は、社会福祉法人はるにれの里・社会福祉法人北摂杉の子会の2法人からスタートしたジョイントセミナーですが、第3回からは社会福祉法人侑愛会、社会福祉法人横浜やまびこの里が加わり4法人に、第4回からは独立行政法人国立のぞみの園が加わり、5法人ジョイントセミナーとして毎年開催してまいりました。今年度より、社会福祉法人はる、社会福祉法人菜の花会、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園が新たに仲間に加わることになりました。

2025年9月12日(金)、高槻市立生涯学習センター 多目的ホールにて8法人ジョイントセミナー2025 公開講座を開催いたしました。ジョイントセミナーは参画している法人が順番に主催を担当していますが、記念すべき第10回目の今年度は、私たち北摂杉の子会が担当いたしました。

公開講座のテーマは、「地域に根差した実践～個別支援から地域支援まで～」。それぞれの地域での実践について、個別の支援はもちろん、地域との連携、行政との協働事例など幅広い内容をもとに、これからの自閉症・発達障害支援について考える場といたく、今回のテーマとしました。



まずは、厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害施策調整官 山根 和史 氏より、発達障害支援の体制整備や制度に関してご説明をいただきました。





そして、昨年までの5法人より、それぞれの実践を報告しました。なお、当法人からは「発達障がい児者支援における重層的な支援体制を目指した大阪府の取り組み」について、大阪府発達障がい児者支援センターアクトおおさか 岡 あゆみ より発表いたしました。

各報告に対しては、山根 和史 氏、加藤 潔 氏、宇山 秀一 氏という、過去にこのジョイントセミナーを実際にご担当されていた3名がコメンテーターとして、それぞれ想いのこもったコメントをくださいました。



さらに、新しく仲間に加わった3法人よりご挨拶をいただき、公開講座を終えました。当日、8法人の職員が101名、一般参加が127名と、多くのご参加をいただき、熱気あふれる公開講座となりました。改めまして、多くの方にご参加いただきましたことを感謝申し上げます。



● ロビーではLaLa-chocolat・ジョブサイトひむろからの出張販売も行いましたが、休憩時間にお客さまの列ができるほどの盛況ぶりでした。



● 翌日の9月13日(土)は8法人の職員のみでの実践交流を行ないました。ポスターセッション形式で、10の実践を通して、交流を行ないました。当法人からは、ジョブサイトひむろ 村上 捷斗 より「スーパーバイザーを活用した、自発的に活動ができる継続性のある支援」について発表いたしました。

発達障害支援において各地で活躍する仲間が集い、実践を通して交流を深めることのできた8法人ジョイントセミナー2025。みなさまのご協力のおかげで、2日間、大きなトラブルなく終えることができました。ありがとうございました。

ジョイントセミナーを私たち北摂杉の子会が担当として実施するにあたり、発表、懇親会も含めた準備、当日の運営、見学対応など…半年以上前から準備を重ねてまいりました。日々の業務の合間を縫ってお手伝いくださった法人内の職員の皆にも、改めて感謝申し上げます。

来年度は“はるにれの里”がご担当です!みなさまとまたお会いできることを楽しみにしています。



ジョブサイトひむろご利用者 福本祐里恵さん



『茨バ・ター展2025』作品大賞受賞のご報告

ジョブサイトひむろのクリエイティブ・ベース（アート・陶芸グループ）に所属されている福本祐里恵さんが、この度『茨バ・ター展2025』にて見事作品大賞を受賞されました。茨バ・ター展とは、茨木市立障害福祉センターハートフル主催の障がい児・者アート展です。タイトル名は、茨木市で行う展示会であることと、制作者が自分自身を投影した作品「アバター」であることを条件にして募集するコンセプト展という由来からなっており、作品とともに作品のエピソード紹介文が原稿用紙として一緒に展示されることが特徴的な企画展です。展覧会は2025年6月20日・21日に茨木市文化・子育て複合施設おにクルにて開催され、福本さんの作品の他、ジョブサイトひむろのご利用者5名及びレジデンスなさはら2丁目のご利用者1名の作品も展示されました。

そんな茨バ・ター展で作品大賞を受賞された福本さんの作品は、切り絵で制作された『ゆりちゃん』です。下記、エピソード紹介文を掲載します。

～ 福本祐里恵さんは、重度知的障がいを伴う三十七歳の自閉スペクトラム症の女性です。『ゆりちゃん』とはご自身のことで、凄まじい速さのハサミさばきで下書き無しで切り上げる、幼少期から続けている切り絵です。そして、台紙は『キャンディー』の記号を画用紙一面に描いた上から違う色で更に描き重ね、そう繰り返す中で色鮮やかに仕上がった絵を使用しました。今作は、福本さんを代表するこれらの二つのアートスタイルが融合した作品です。『ゆりちゃん』とは厳密には子供の頃のご自身のことで、髪型も当時を再現しておられます。発語も当時の場面を仰ることが多い福本さんの脳内は、幼少期の記憶で溢れているのでしょうか。夕焼けのような鮮やかな色合いとともにあの日の記憶を追体験するような作品に、見るほうも懐古的な気持ちになります。～

6月21日に同会場にて行われた表彰式では、慣れないイベントながらも落ち着いて堂々と表彰を受ける福本さんのお姿がとても格好良かったです！これからも福本さんの繊細かつ大胆な表現活動を楽しみにしています。



福本さん表彰式



作品 ゆりちゃん



似顔絵制作：
ジェイ・ブランチよど宮城亮さん

ジェイ・ブランチよど 「就労継続支援B型のあり方の再考と アート活動による十三地域の繋がり構築」

ジェイ・ブランチよど
生活支援員 ^{おけ}桶 ^{たに}谷 ^{こう}幸 ^{すけ}祐

ジェイ・ブランチよど（以下、ブランチ）は、大阪市淀川区十三にある就労継続支援B型事業所です。主に発達障害や精神障害のあるご利用者が、企業からの受注作業をされたり、地域のクリニックや工場などに施設外就労に行かれたりしています。事業所内での主な作業は絵の具のラベル貼りやバーコード貼り、ダイレクトメールの封入・封緘・宛名貼りなどです。

地域の方々との繋がりのおかげで安定してご利用者に仕事を提供することができていますが、課題になっていることもあります。例えばブランチで提供されている受注作業以外の仕事は少なく、ご利用者が好きなことや得意なことを活かした仕事を新たに広げていく機会が少ない状況でした。また余暇の面では、コロナ禍を機に機会が減少。余暇活動をしていた土曜日の開所日も通常作業のみになり、ご利用者の生活を豊かにしているとは言えませんでした。地域との繋がりに関しては、コロナ禍で今まで行っていた余暇活動やよど祭りができなくなったことや、よどのコロケ事業の終了などもあり、地域とのつながりが希薄になっていました。

これらの課題に対してブランチでは、働き方の多様化や余暇活動の充実によって、ご利用者の生活の質を上げられないだろうか、独自製品の販売や地域への発信を通じて、地域とつながることができないだろうか、と考えました。そこでブランチは大きく2つのことに取り組みました。

ひとつ目は、余暇活動への取り組みです。まず2023年度にこれまでコロナ禍で中止していた土曜開所日の余暇活動、日帰りレクリエーションを再開しました。特に土曜開所日については、以前は仕事も余暇も行う日でしたが、余暇の内容を充実させるために余暇活動だけの日にし、新しい余暇活動をやってみました。

例えば新たにディスコイベントを企画しました。DJがノンストップで音楽をかけ、踊ったり音に乗ったりして音楽を楽しむイベントです。ディスコやクラブのような、普段は経験しないイベントを、ブランチならではの形でやってみようという取り組みです。ペンライトやうちわ、ドリンクチケットなどの演出に加え、特性に配慮し音を大きくしすぎないことや、光の刺激や初めての場での

不安などに対応できるよう、いつでも避難できる個室も準備しました。職員も初めての試みでしたが、同じ空間、同じ音楽で盛り上がり、普段は味わえない一体感に包まれました。



ディスコイベントの様子

映画上映イベント「ブランチシネマ」も行いました。普段映画に行けない方や行かない方も映画を楽しめるよう、音が大きくない、暗くない、トイレも近いなど、みんなが楽しめる映画館を目指しました。こちらもチケットやポップコーンの提供などの演出に加え、音声だけの情報では映画の内容が分かりにくい人がいるかもしれないので、事前に映画のストーリーや登場人物を説明したパンフレットを作成しました。

このような新しい余暇の取り組みを通して、ご利用者に普段していない、できない体験を提供しました。



ブランチシネマの様子

2つ目の取り組みは、アート活動による取り組みです。もともとブランチには、絵や物語、詩などを作る才能にあふれたご利用者がおり、その才能を活かせる場を考えていました。特に、普段はこだわりがありできる作業に限られているご利用者が生き生きと絵を描く姿を見て、何とか活かすことはできないかと考えている日々でした。

そこで2022年、まずは独特な色彩感覚とデフォルメ

された絵を描くKATO氏と、木工加工を得意とする職員のユニット"KATO&木工房 So what"を始動し、KATO氏の絵を使った木工フィギュアを、知り合いなどからの受注生産で制作・販売し始めました。そして2023年には以前からつながりのあった須磨の喫茶店「あいうえむ」で、外部のアーティストATUさんとのコラボ展「確かに、そこにあるもの。」を開催しました。このコラボ展をきっかけに、KATO氏以外のアーティストの作品も制作・展示を本格的に始め、ランチ全体でアート活動を進めていきました。また展示会の見学にランチのご利用者や訪れたり、KATO氏によるトークイベントを実施するなど、ご利用者の余暇や活躍の場にもなりました。



展示会「確かに、そこにあるもの。」の様子

このような取り組みを経てランチは、次は身近な人に活動を知ってもらうために地元十三でも活動していくことを決めました。十三地域は、地元の人に愛されるミニシアター「第七藝術劇場」があったり、各地に壁画アートがあったりするなど、実はアート活動が盛んな地域でした。そこでまずランチは十三地域のアート活動を盛り上げる団体「淀川アートネット」に加入することにしました。その繋がりにから2024年7月、地元のミニシアター「第七藝術劇場」にあるギャラリースペース「ナナゲイギャラリー」で1ヶ月の展示会「わたしたちの望むものは?」を開催しました。この展示会には映画を見に来られた方はもちろん、以前法人で働いていた方やご利用者のご家族など様々な方が見に来てくださり、感想を伝えてくださいました。同年9月には、同じく淀川アートネットで繋がった地域のギャラリースペース「海月文庫」での1週間の合同展示に参加しています。こちらの合同展示は定期的に開催されており、この展示会以降も何度も参加させていただいています。



ナナゲイギャラリー展示会の様子

そしてランチは、淀川アートネット主催のイベント、「十三アートフェス」にも参加しました。十三アートフェスは毎年十三地域の店舗やギャラリーなどがアートの展示やコラボメニューの提供などを行い、十三地域を盛り上げるイベントです。2024年は「世界」をテーマに、1週間の開催期間で68のお店や団体が参加し十三の町をアートで彩りました。ランチはジョブサイトよどの1階を展示スペースにし、「こんな世界になればいい」というテーマで、よどとランチのアーティストの作品を展示しました。また期間中は、土曜開所日に行ったディスコイベントを誰でも参加できる形で行い、ご利用者、職員、地域の方々が同じ空間で音楽を楽しみました。



海月文庫 合同展示の様子



このような活動を通して、ランチは十三地域とのつながりを作っていくことができました。その後も区役所のクリスマスの展示や前述の海月文庫の合同展示に参加するなど、精力的に活動しています。

ランチはコロナ禍で中止していた余暇を再開するとともに、新しい余暇を通じてご利用者の生活の質の向上をはかりました。またアート活動を仕事・余暇ともに進めることで、ご利用者の好きなことや得意なことを表現する機会を作りました。さらにアート活動を通じて障害のある人と地域を繋ぐ役割を担うことができました。これからもご利用者の生活をより良くするために、新しい取り組みを進めるとともに、十三地域との繋がりを広げていきたいです。



※ランチの日々の活動、展示会のお知らせは木工房 So whatのSNSをご覧ください。



杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動(絵画・詞・陶芸等)を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

豊中市立児童発達支援センター【通所部門】

くるみ

七夕工作掲示物



あゆみ



どれみ



七夕☆シ



豊中市立児童発達支援センター【通所部門】では、季節にちなんだ工作やイベントを実施しています! 7月には玄関前に笹を置いており、各事業のお子さまたちが作った作品や保護者さまに書いていただいた短冊などを飾り付けていました♪

笹に飾り付け

保護者さまと一緒に笹に飾り付け

こども発達支援センター Will



こども発達支援センターwillでは、お子さんの特性や興味に合わせて、療育環境を柔軟に設定しています。余暇時間も、おもちゃの置き方や種類を工夫し、棚に並べて順番に取り組みスタイルや、トミカを走らせながら自由に遊ぶスタイル、絵カードを先生に渡してほしいものを伝え、先生がおもちゃを出すスタイルなど、さまざまです。ボール遊びが好きなお子さんには、特別にボールプールを用意することもあります。一人ひとりが「楽しかった!」と感じてもらえるような環境づくりを、これからも続けていこうと思います。

自閉症療育センター Link



お友達と作ったスライム



牛乳パックポシェット



お友達と一緒にスライムを作ったよ!



ポシェットを作ったよ!



掲示板コーナー

(令和7年6月から令和7年8月まで)

法人事業部 掲示板

6月	行 事
4日	法人事業部管理会議
6日	医療連携推進室会議
9・23日	経営会議
13・27日	運営会議
22日	第163回理事会 第1号議案 理事長、常務理事選任の件
26日	権利擁護虐待防止委員会
29日	FUKUSHI meets! インターンシップ2027 イベント出展

7月	行 事
1日	法人事業部管理会議
4日	医療連携推進室会議
11日	第3回新入職員研修 「障がい福祉制度、個別支援計画」
11・25日	運営会議
14・28日	経営会議

7月	行 事
動画視聴 形式にて 開催	令和7年度 第2回法人研修 ・業務貢献優秀賞の取り組み ・感染症対策研修 ・BCP研修 ・人権研修

8月	行 事
1日	医療連携推進室会議
4日	第164回理事会 第1号議案 独立行政法人福祉医療機構からの借入の件
6日	法人事業部管理会議
8日	法人夏の採用説明会
5・19日	経営会議
8・29日	運営会議
25日	第165回理事会 第1号議案 諸規則規程類の改定の件
28日	権利擁護虐待防止委員会

(奥平 記)

FUKUSHI meets! インターンシップ2027 イベント出展



萩の杜 掲示板

夏の夜に花火をしました！



特別ランチができました！



かき氷を
食べました。

夏



ひんやり
涼しさを
味わいました！



(大塚 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

茨バ・ター展

障害福祉センターハートフルさま主催の「茨バ・ター展」に、ジョブサイトひむろから6名が出展しました。本展は、自分自身の分身ともいえる『アバター』を表現した作品を展示するアートコンセプト展です。同日には関連イベント「アートマルシェ2025」にも出店し、ジョブサイトひむろの陶芸やアート雑貨を販売しました。次回の出店は11月1日、茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」を予定しています🐱



スポッチャレク

ランドリーは、みんなでスポッチャへお出かけしました。バスケットボールやバドミントン、ボウリングなどのスポーツから、マリオカートや太鼓の達人といったゲームまで幅広く楽しみました。カラオケも盛り上がりました♪お昼にはお寿司をいただき、1日中たっぷり遊んで仕事のよいリフレッシュとなりました。



レモン植樹

高つきレモンの会さまよりレモンの木をいただき、一緒に植樹作業を行いました。「高つきレモン®」とは、高槻市名誉市民・高碓達之助氏がアメリカから苗木を持ち帰り、東洋食品工業短期大学で育てられたマイヤーレモンのことです。とても暑い日でしたが、大切に丁寧に植えました💎



七夕

今年も全員で短冊に願い事を書き、新しく植えられた木々に飾りつけました★風に揺れる短冊を眺めながら、それぞれの願いに思いを馳せました。給食では3色そうめんとフルーツポンチが提供され、夏の雰囲気味わうことができました。



慰労会

お盆前の賞与支給日に合わせ、各グループで慰労会を行いました。好きなお菓子や飲み物を購入し、思い思いにリラックスした時間を過ごしました。皆さん、お仕事本当にお疲れさまです🍷



(井上・村岸 記)

アクトおおさか Topics!!

～令和7年度 第1回

大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会のご報告～

アクトおおさかでは、発達障がいのある方々の乳幼児期から成人期までの各ライフステージを通じた途切れない支援のためのネットワーク構築を目的として、年2回連絡協議会を開催しております。本協議会の参加機関は圏域の二次支援機能・府域の三次支援機能を担っている支援機関も多く、一次支援機能を担う市町村の支援力の向上をバックアップする役割を担っています。当センターでも開所当初から、直接支援でご本人・ご家族のニーズを吸い上げ、間接支援で府民の方や直接支援を担っている市町村の支援者の方々への普及啓発や人材育成等を目的とした事業を展開してきました。しかし、当事者の方からは地域での障がい特性に基づいた適切な支援はまだ受けづらいという声も聞かれており、普及啓発や人材育成については引き続き課題が残っております。

そこで、今年度第1回目は、人材育成のための取り組みやその課題について、各機関・団体の委員の皆様と意見交換させていただきました。意見交換では、職員の定着のしづらさや新年度になり担当が変わると支援が引き継がれないこと、研修で得た知識を現場での支援に活用することの難しさなどが課題として挙がりました。今後の取り組みとしては、ご本人の将来像をイメージしながら支援する視点の啓発や、体系化された研修システム構築の必要性のほか、診断や手帳のない発達障がい特性のある方が利用する可能性のある障がい福祉分野以外の機関にも発達障がいについて理解を広げていくことが大切であるというご意見もありました。

意見交換を通じて、各機関・団体の取り組みを知り、課題についての意見交換を実施する中で、人材育成の在り方について改めて考える機会となりました。アクトおおさかとしても、発達障がいのある方やご家族が府内のどこに住んでいても身近な地域でニーズに応じた適切な支援を受けられるよう、ライフステージを通じた途切れない支援を目指して、今後も支援体制の整備や支援ネットワークの構築に努めてまいります。 (奥野 記)



アクトおおさか
大阪府発達障がい者支援センター

Will



アスレチック



ひとりでべんきょう



みんなでおやつタイム!

Link



お母さんと協力してボウリングをしたよ!



お母さんと協力して玉入れに挑戦したよ!

豊中市立児童発達支援センター【通所部門】



夏祭り、皆で記念撮影!



夏祭り、先生と一緒に
おみこしわっしょい!



暑い時期は水遊びをしています!
水遊び大好き♪

(西村・高本・瀬川 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど



☆祝日開所日☆
(流しそうめんとお買い物)



外食 (十三近辺で外食)



🌸 お花の水やり
(あさがおが咲きました)



🍳 クッキング&ティータイム ☕



♪ ごみ運搬 ♪



☆かわらばん配達☆
(ランチに配達)



ジェイ・ブランチよど

【 ギャラリー見学&ボーリング 】



今年もナナゲイギャラリーにてランチご利用者の作品展を行っていたので祝日開所日にみんなで見に行きました! 展示作品だけでなく飾られていた写真にも興味津々です。その後は隣にあるボーリング場へ! 皆さんどうやったらたくさんピンが倒れるか研究しながら取り組まれていました♪



【 慰労会2025夏 】

今年の夏もご利用者のパフォーマンス動画やクイズ大会、ビンゴ大会を楽しみました!



(桑田・西野 記)

ふれいす Be 掲示板

【夏祭り】



【夏の思い出】



(八木・西垣 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか 掲示板

6月	行	事
2日	企業実習 (スポーツ用品販売店)	
7日	自分を知る勉強会 (星明さん主催)	
16日	企業実習 (ジョブサイトひむろ) 企業実習 (製造業)	
21日	OB会 オフ会 (ボーリング、カラオケ、水族館へ外出)	
23日	企業実習 (JR西日本特例子会社)	
30日	企業実習 (製造業)	
7月	行	事
3日	大人の社会見学 @ EXPO 2025 大阪・関西万博	
5日	OB会 バーベキュー	
7日	企業実習 (清掃業) 企業実習 (店舗の品出し)	
9日	自立訓練 キャリア探求プロジェクト 企業見学	
14日	企業実習 (寝具のたたみ、袋入れ)	
25日	企業見学 (製造業の事務・清掃)	
29日	企業見学 (JR西日本特例子会社)	
31日	自立訓練 ライフスキル倶楽部 調理実習 (クレープ作り)	
8月	行	事
8日	OB会 座談会&華金	
9日	土曜クラブ ウィナー飾り切り教室 日本ハム株式会社主催	
22日	日本職業リハビリテーション学会 第52回兵庫大会 事務局運営 1日目	
23日	日本職業リハビリテーション学会 第52回兵庫大会 事務局運営 2日目	
25日	企業見学 (清掃業)	
26日	企業見学 (清掃業)	
28日	自立訓練 外出@箕面の滝 企業見学 (物流業)	

(宮本、森田 記)

OB会(バーベキュー)

7月のOB会では、就職された方々と一緒にBBQを楽しみました！今年が高槻摂津峡にある川と森にバーベキューランドさんで開催しました。ドリンクで乾杯、お肉を網で焼いていると皆さん笑顔になってお肉が焼ける様子が嬉しそうで笑い声もあちこちのグループから聞こえてきました。OBの方々が焼いてくれたお肉をみんなで食べて、スタッフもとても楽しい1日を過ごせました。また来年も開催したいですね。



大阪・関西万博 EXPO2025

7月3日(木)に、総勢25名で、「大阪・関西万博 EXPO2025」に行ってきました。当日は、JAPAN DAYの開催もあり、大変な混雑と猛暑日が重なりましたが、皆さんにとって記憶に残るであろう思い出深い一日になりました。事前の抽選予約には外れてしまいましたが、当日は皆さんの希望に沿った海外パビリオンを中心に巡って、各国の多様な文化や、技術に触れたりして、貴重な体験ができました。会場内では、就労チームと自立チームに分かれて行動しましたが、最後は東ゲートに集合し、それぞれにお土産や記念品を買って解散となりました。暑い中大変でしたが、皆さんの楽しそうな笑顔が印象に残る一日となりました。



職業リハビリテーション学会

8月22日(金)、23日(土)に職業リハビリテーション学会の第52回兵庫大会があり、その受付補助として3名のご利用者にお手伝いしていただきました。作業内容は受付に来られた人の名前を聞いて名簿をチェックし、名札と抄録をお渡しするという業務でした。

受付業務はお客様に対する言葉遣いや抄録をお渡しするときの振る舞いなど、ビジネスマナーが求められます。イレギュラー対応を求められることもありましたが、皆さん最後まで一生懸命に取り組んでおられました。



LaLa-chocolat TAKATSUKI 掲示板



秋商品・10周年イベントの準備を進めています！

10周年記念ケーキ



今年の10月をもってLaLa-chocolatはおかげさまで10周年を迎えます。10月には10周年記念イベントを実施予定です。イベントでは多くのお客さまに感謝の気持ちを伝えられるよう、ご利用者の皆さん・スタッフ一同、心を込めて準備中です。



地域のイベントで販売をしました！

避難訓練をしました



tukuru @おにぐる



たかつきまるしえ @郡家すこやかテラス



各作業場で火災を想定した防災訓練を行いました。避難時の注意点と避難場所をみんなで確認しました。



安全に気をつけて避難訓練しました！

大人なティラミスかき氷、定番のブルーハワイ

外食ランチ、かき氷づくりをしました♪



家族亭♪



鶴橋風月♪



ランチの道中でガチャガチャ発見...!



Instagramのご紹介

お店の情報をアップしていますので、ぜひご覧ください♪

秋商品・10周年イベントのご紹介

いつもご愛顧いただき誠にありがとうございます。店頭では秋の味覚を詰め込んだギフト商品、見た目もお味も楽しめるハロウィン商品をご用意しております。

また、10/14~10/21はLaLa-chocolat 10周年記念イベント期間となっております。期間中は日頃の感謝を皆様にお伝えできる機会となればと思います。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



(中田 記)

訪問看護ステーション

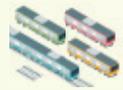
～訪問の様子～



タブレット使っても、
やっぱり漢字は難しいなあ



ぼくの体が
すっぽり入る大きさの
線路を作ったよ!



ポケモンが大好き
丁寧に塗ることが
できました!



好きなポケモンは
色違いで仕上げました!



～ご利用者さん作品集～

訪問では、ご利用者さんが
訪問以外で取り組まれた
いろいろな作品を見せて
ください。その一部を紹介します。



(岡野 記)

萩の杜家族会 掲示版

6月	行	事
9日	通所部 茶話会 (からふね屋珈琲 高槻店)	5名出席
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
18日	茶話会 安満遺跡公園サクラ広場 イシダコーヒー店	8名出席
26日	サークル萩 (今城塚公民館)	
7月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
16日	役員会 (クロスパル高槻) 定例会 (クロスパル高槻) ・事務局 サークル萩 通所部 会計 活動報告 ・施設からの報告	
24日	サークル萩 (今城塚公民館)	
8月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
28日	サークル萩 (今城塚公民館)	

(池永 記)

令和7年6月18日 (水) 茶話会の報告

梅雨の最中なので雨が心配でしたが猛暑日になりました。

安満遺跡公園東のサクラ広場に集合、緑豊かな広場で意外に涼しかったです。

深尾さんの提案でみんなで歌うことにしました。大きな字の歌詞のプリントを用意していたので声をはり上げて歌い愉快でした。

「手のひらを太陽に」「川の流れるように」他2曲です。

30分後に石田コーヒーショップに移動、おいしいケーキ付コーヒーをいただきながら近況報告をしました。

次回もこのスタイルでいきましょう。

今村



萩の杜家族会の皆さま

いつも大変お世話になっております。

50500円のギフトカードを頂き、右記物品を購入いたしました。

萩の杜、レジデンスはぎのもりにて、それぞれ大切に使用させていただきます。

萩の杜、レジデンスはぎのもり職員一同、心より御礼申し上げます。

萩の杜

令和7年度 イオンギフトカード 購入リスト



掃除機3台、物干し1個、ふとん挟み4個、延長コード3個

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

6月	行	事
2日	北摂杉の子会後援会定例役員会（高槻市立生涯学習センター）	金谷会長出席
5日	グループホーム新設希望者の会 第2回会合（ひむろ交流スペース）	
16日	家族会会長会議（高槻市立生涯学習センター）	金谷会長出席
25日	グループホーム見学 三島の郷（ハイジ・あすなろ）女性専用	7名参加
7月	行	事
24日	第1回 定例会（クロスバル高槻 5階 視聴覚室） <議題> ①法人近況報告（平野常務理事） ②ジョブサイトひむろ近況報告（森田施設長） ③家族会より（会計報告・他） 次回開催予定 第2回定例会 10月9日（木） 10時30分～12時 ④グループホーム新設希望者の会より ・4月からの活動報告 ・要望書（案）について経緯説明及び読み上げ後、審議の結果、要望書（案）は承認 *7月24日付「要望書」を平野常務理事に提出 第2回 役員会 <議題> ①本日の定例会での議論を踏まえて審議すべき事項 ②今後の役員会・定例会の日程確認 ③第3回役員会（9/2）の議題等について ④その他 次回予定 第3回 役員会 9月2日（火） 10時30分～12時	
8月	行	事
28日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（高槻市立生涯学習センター）	金谷会長出席

（瀬戸 記）

ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

6月	行	事
2日	北摂杉の子会後援会定例役員会（高槻市立生涯学習センター）	出席：永井会長、玉木会長
16日	家族会会長会（高槻市立生涯学習センター）	出席：永井会長、玉木会長
7月	行	事
1日	7月定例会（淀川区民センター） 「松上理事長と語ろう」 法人：松上理事長、下部長 ジョブサイトよど家族会（7名） ジェイ・ブランチよど家族会（2名）	
18日	よどおやの会（たんぼぼ十三店） 法人：松上理事長、下部長 ジョブサイトよど家族会（5名） ジェイ・ブランチよど家族会（1名）	
21日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど1階）	
8月	行	事
28日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（高槻市立生涯学習センター）	出席：永井会長

（永井 記）

ぶれいすBe家族会 掲示板

6月	行 事
11日	役員会（参加者9名） ・勉強会（9月19日開催予定）について 『あんだんて』さんをお願い ・参観&ランチについて
16日	杉の子会家族会会長会に出席

7月	行 事
9日	役員会（参加者10名） ・定例会について 開始形態、テーマなど
14日	ショートステイとの懇談会 ・ショートステイの利用状況について ・薬の管理について ・利用者の様子について 新入所者さんと面会 家族会に入会されました

8月	行 事
20日	役員会（参加者8名） ・勉強会について 9月19日（金）今城公民館決定 ・定例会の準備日程について 『あんだんて』さんと打合せ
28日	杉の子会後援会 臨時役員会に出席

（芦川 記）



北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	623	(2%)	36	(6%)	1
5月	623	(5%)	36	(6%)	2
6月	623	(7%)	36	(6%)	6
7月	624	(8%)	36	(8%)	7
8月	628	(11%)	36	(8%)	8

8月末現在の増減・累計

個人：6名 団体：1 寄付：8名

資金 会費：320,000円 寄付：76,000円 合計：396,000円

II 今年度8月末までに会費、寄付金合わせまして396,000円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 臨時役員会を開催（2025年8月28日）し下記の案件について確認。

1. 今年度の会員動態と資金の推移について
2. 各家族会の活動報告
3. 次回臨時役員会の開催予定

日時：2025年12月15日（月）13：00～14：30

場所：法人本部会議室

（平野 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

（注）任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に
感謝いたします ～



令和7年6月1日～令和7年8月31日

法人へのご寄附に感謝いたします。

松岡洋市 浅野憲治 登間佐孝男 匿名2人

後援会入会と会費納入に感謝いたします。

並河博 並河光子 田口勝重 田口恵美子 岩成由佳子 福田江里子 福田義道 田口容子 田口敦夫
田寺雅幸 田寺文子 朝倉千涼 林秀郎 白倉俊雄 谷口智恵子 山田信子 井上輔希子 河本聖子 伊藤茂
小林夏子 東井はるみ 強田純子 岡大緑 福岡新司 西村伊一郎 中村忠雄 中村昭代 平瀬武明
黒澤和子 岡庭信平 西井隆造 和泉良太郎 和泉智子 本田圭子 中村豪史 佐々木映世 山里将夫
新川彰 株式会社いずみ商事 匿名1人

後援会へのご寄付に感謝いたします。

並河博 朝倉千涼 上杉国彦 新川淳 宮本東雨 匿名2人

家族会へのご寄付に感謝いたします。

匿名2人

家族会への物品のご提供に感謝いたします。

池上みどり 吉田尋美 神田由美子

家族会へのボランティアに感謝いたします。

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2025年10月31日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - **障がい者支援施設 萩の杜 (施設入所支援・生活介護)**
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら (生活介護)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす (短期入所・日中一時支援)**
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
 - **グループホーム とんだ (共同生活援助)**
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - **レジデンスなさはら (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - **レジデンスなさはら2丁目 (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - **レジデンスなさはらもとまち (共同生活援助)**
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - **ジョブサイトひむろ (生活介護)**
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
 - **生活支援センター あんだんて (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか (発達障害者支援センター事業)**
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - **こども発達支援センター will (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - **こども相談支援センター wish (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
 - **自閉症療育センター Link (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)**
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - **ジョブサイトよど (生活介護)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - **ジェイ・ブランチよど (就労継続支援B型)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - **レジデンスよど三津屋北ホーム (共同生活援助)**
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
 - **レジデンスよど十三ホーム (共同生活援助)**
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
 - **ジョブジョイントおおさか (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)**
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - **すぎのご訪問看護ステーション (訪問看護)**
〒569-0065 高槻市城西町9-6 2F
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - **豊中市立児童発達支援センター【通所部門】**
〒561-0854 豊中市稲津町1丁目1番20号 1階
TEL (06)6676-7890 FAX (06)6676-7889
- 【法人自主製品店舗】
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」 就労継続支援B型**
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業

